

英語	英語 B
----	------

《担当者名》准教授 / 鎌田 禎子 (看護福祉学部)
講師 / 白鳥 亜矢子 (医療技術学部) 非常勤講師 / ニノ宮 寛子

【概要】

薬学、医療に関連する英語の文章を読み、将来学習することになる薬学英語 ・ や薬学の専門科目の学習に必要な英語の基礎力および薬学の基礎知識を修得する。

【学修目標】

薬学、医療に関連する英語の文章を読んで、内容を正確に説明できる。
薬学、医療に関連する英語の代表的な専門用語を列挙し、その内容を説明できる。
薬学、医療に関連する簡単な文章を英語で書くことができる。
薬学、医療に関連する分野の諸問題について概説できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	クラス 1		
1) 2	Introduction Unit 1 Receptors as Drug Targets	授業概要の説明 薬の標的としての受容体に関する文献を読んで、概要を把握し、内容を正確に説明できる。 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	鎌田 禎子
3) 4	Unit 11 Immunosuppressant Drugs and the Transplant Revolution	免疫抑制剤と臓器移植に関する文献を読んで、概要を把握し、内容を正確に説明できる。 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	鎌田 禎子
5	Review 1	講義内容の確認・復習と演習問題などを通して、理解度・習熟度を深め、重要事項について説明できる。 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	鎌田 禎子
6) 7	Unit 2 Routes of Drug Administration	薬物投与経路に関する文献を読んで、概要を把握し、内容を正確に説明できる。 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	白鳥 亜矢子
8) 9	Unit 7 Respiratory Disease: The Renewed Threat of Tuberculosis	結核と対策に関する文献を読んで、概要を把握し、内容を正確に説明できる。 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	白鳥 亜矢子
10	Review 2	講義内容の確認・復習と演習問題などを通して、理解度・習熟度を深め、重要事項について説明できる。 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	白鳥 亜矢子
11) 12	Unit 6 Heart Disease: Nitroglycerin as a Cardiovascular Drug	心血管薬としてのニトログリセリンに関する文献を読んで、概要を把握し、内容を正確に説明できる。 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	ニノ宮 寛子
13	Unit 12 Adverse Drug Reactions	薬物有害反応に関する文献を読んで、概要を把握し、内容を正確に説明できる。	ニノ宮 寛子

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
14		《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	
15	Review 3	講義内容の確認・復習と演習問題などを通して、理解度・習熟度を深め、重要事項について説明できる。 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	二ノ宮 寛子
	クラス2		
1 2	Introduction Unit 2 Routes of Drug Administration	授業概要の説明 薬物投与経路に関する文献を読んで、概要を把握し、内容を正確に説明できる。 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	白鳥 亜矢子
3 4	Unit 7 Respiratory Disease: The Renewed Threat of Tuberculosis	結核と対策に関する文献を読んで、概要を把握し、内容を正確に説明できる。 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	白鳥 亜矢子
5	Review 1	講義内容の確認・復習と演習問題などを通して、理解度・習熟度を深め、重要事項について説明できる。 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	白鳥 亜矢子
6 7	Unit 6 Heart Disease: Nitroglycerin as a Cardiovascular Drug	心血管薬としてのニトログリセリンに関する文献を読んで、概要を把握し、内容を正確に説明できる。 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	二ノ宮 寛子
8 9	Unit 12 Adverse Drug Reactions	薬物有害反応に関する文献を読んで、概要を把握し、内容を正確に説明できる。 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	二ノ宮 寛子
10	Review 2	講義内容の確認・復習と演習問題などを通して、理解度・習熟度を深め、重要事項について説明できる。 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	二ノ宮 寛子
11 12	Unit 1 Receptors as Drug Targets	薬の標的としての受容体に関する文献を読んで、概要を把握し、内容を正確に説明できる。 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	鎌田 禎子
13 14	Unit 11 Immunosuppressant Drugs and the Transplant Revolution	免疫抑制剤と臓器移植に関する文献を読んで、概要を把握し、内容を正確に説明できる。 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	鎌田 禎子
15	Review 3	講義内容の確認・復習と演習問題などを通して、理解度・習熟度を深め、重要事項について説明できる。 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	鎌田 禎子
	クラス3		
1	Introduction	授業概要の説明	二ノ宮 寛子

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
2 }	Unit 6 Heart Disease: Nitroglycerin as a Cardiovascular Drug	心血管薬としてのニトログリセリンに関する文献を読んで、概要を把握し、内容を正確に説明できる。 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	
3 }	Unit 12 Adverse Drug Reactions	薬物有害反応に関する文献を読んで、概要を把握し、内容を正確に説明できる。 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	二ノ宮 寛子
4			
5	Review 1	講義内容の確認・復習と演習問題などを通して、理解度・習熟度を深め、重要事項について説明できる。 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	二ノ宮 寛子
6 }	Unit 1 Receptors as Drug Targets	薬の標的としての受容体に関する文献を読んで、概要を把握し、内容を正確に説明できる。 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	鎌田 禎子
7			
8 }	Unit 11 Immunosuppressant Drugs and the Transplant Revolution	免疫抑制剤と臓器移植に関する文献を読んで、概要を把握し、内容を正確に説明できる。 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	鎌田 禎子
9			
10	Review 2	講義内容の確認・復習と演習問題などを通して、理解度・習熟度を深め、重要事項について説明できる。 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	鎌田 禎子
11 }	Unit 2 Routes of Drug Administration	薬物投与経路に関する文献を読んで、概要を把握し、内容を正確に説明できる。 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	白鳥 亜矢子
12			
13 }	Unit 7 Respiratory Disease: The Renewed Threat of Tuberculosis	結核と対策に関する文献を読んで、概要を把握し、内容を正確に説明できる。 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	白鳥 亜矢子
14			
15	Review 3	講義内容の確認・復習と演習問題などを通して、理解度・習熟度を深め、重要事項について説明できる。 《薬学準備教育ガイドライン》 (1)-2, (3)- , ,	白鳥 亜矢子

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

期末定期試験 60%、平常点（小テスト、課題など）40%。小テスト等は解答・返却等の対応を行い、随時質問に応じる。

【教科書】

The Wonders of Medicine. 瀬谷幸男、高津昌宏、西村月満、平井清子、和治元義博、ジェイムズ A. ガダード著 南雲堂

【参考書】

授業中に指示する。

【学修の準備】

予習としては、次回の授業範囲のテキストを学修し、専門用語の意味等を理解しておくこと（40分）。

随時小テストを実施するので、教科書、プリント、ノート等を活用して学修内容を復習し、理解を深めること（40分）。

【薬学準備教育ガイドライン】

(1) 人と文化

(3) 薬学の基礎としての英語

【 読む】【 書く】【 聞く・話す】

【薬学部ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

1. 医療人として求められる高い倫理観を持ち、法令を理解し、他者を思いやる豊かな人間性を有する。

3. 多職種が連携する医療チームに積極的に参画し、地域的および国際的視野を持つ薬剤師としてふさわしい情報収集・評価・提供能力を有する。